

コロラド州

Colorado

進出基礎情報

2019年3月

ジェトロ・ロサンゼルス事務所

免責事項

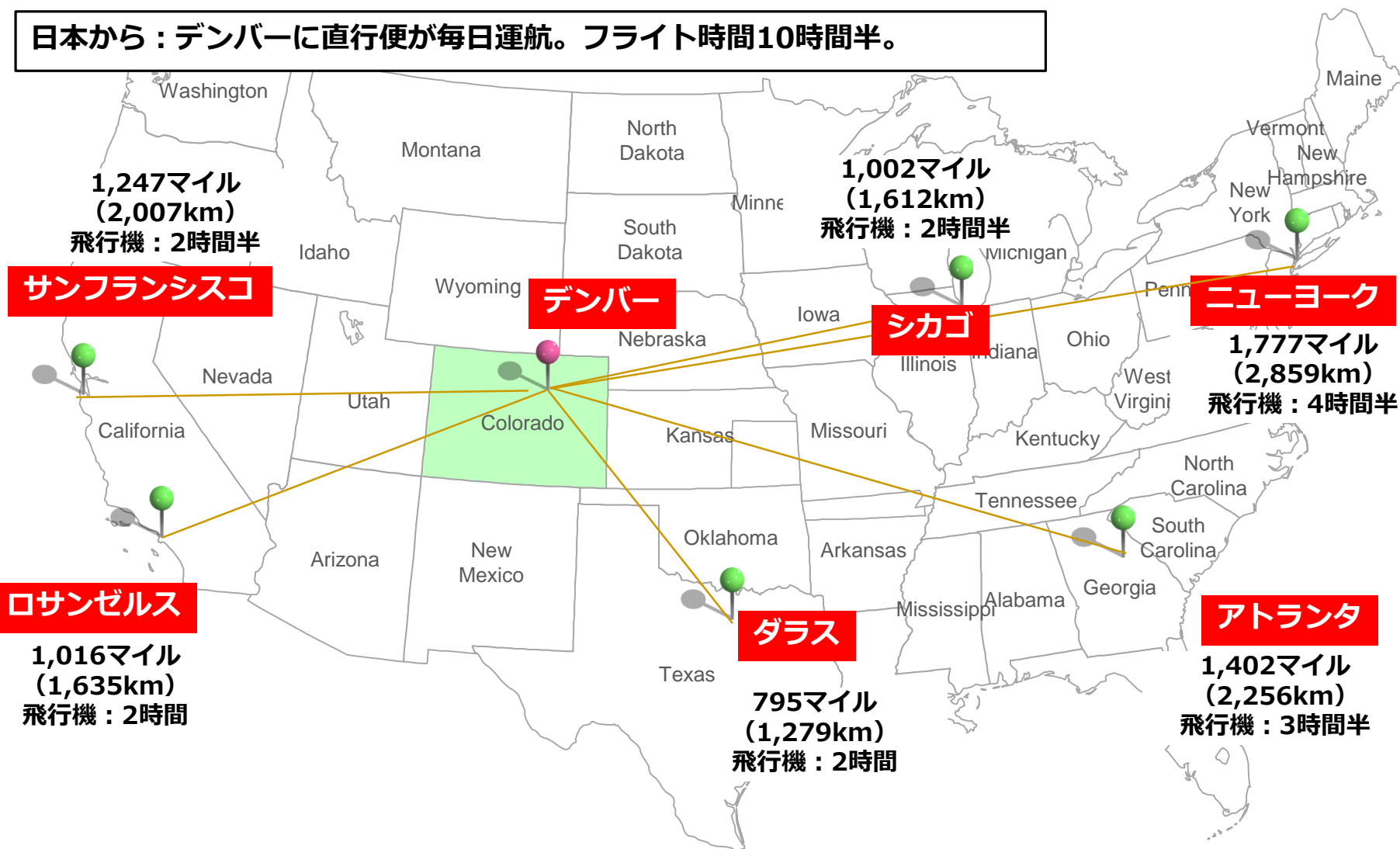
1. 本調査報告書は、企業等の今後の事業展開に資する内部資料として活用いただくことを目的として提供いたします。本サービスで得た情報を無断で第三者に提供する行為は固くお断りします。転載・翻訳される場合は、必ずジェトロの許諾を得たうえで改変を一切行わず、調査資料等の名称・出所を明示してください。また、引用される場合は、改変を一切行わず当該情報の出所を明示して下さい。万が一、お客様が本規則を遵守せず、紛議が生じたとしても、ジェトロは一切責任を負わず、お客様に損害を賠償していただきます。
2. ジェトロは、できる限り情報の正確を期するよう努めますが、最終的な情報利用の採否はお客様の責任と判断によります。
3. ジェトロが提供した情報により直接、間接に関わらず生じた結果について、万が一、お客様が不利益を被る事態が生じた場合、ジェトロは一切責任を負いかねます。

目次

・ マップ	4
・ 政治・経済プロフィール	7
・ 産業構成の現状と今後の注力分野	9
・ 事業コスト	10
・ 人材	12
・ 企業進出例	13
・ 州レベルの取組み	14
・ ビジネス支援団体	15
・ 各種インセンティブ	17
・ 会社設立手続き	18

1. マップ(1): 米国における位置

日本から：デンバーに直行便が毎日運航。フライト時間10時間半。



1. マップ(2): 米国西部地域における位置



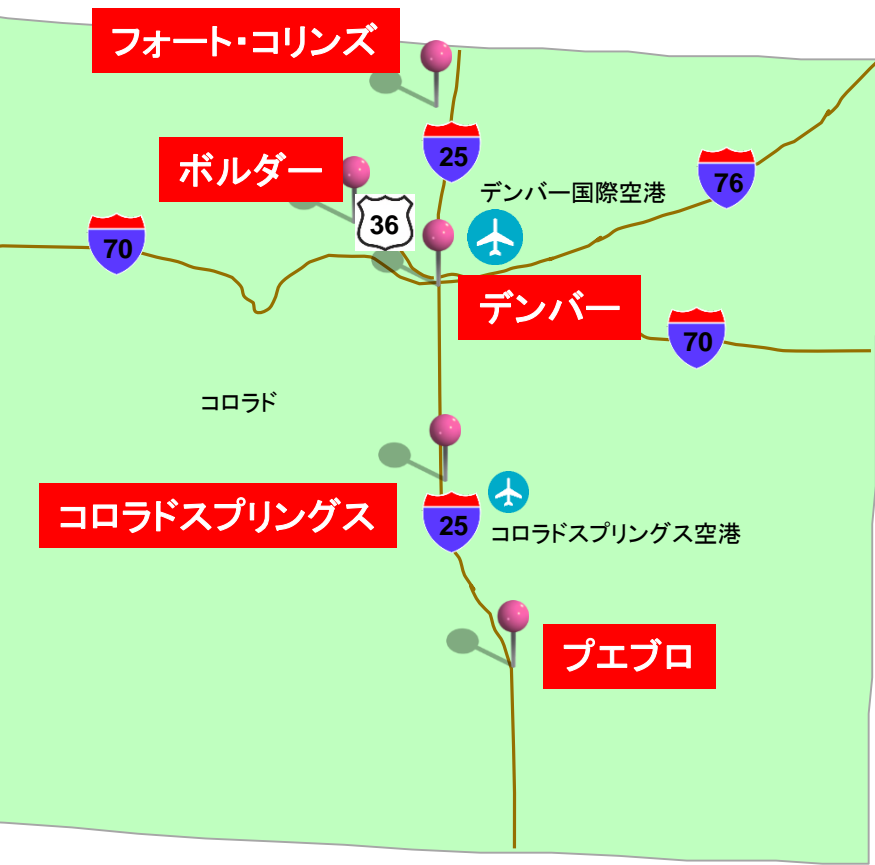
(写真: Pixabay)

1. マップ(3):コロラド州



(写真: Pixabay)

コロラド州の地理	
土地面積	26万8,431km ² (全米8位)
高度	最高: 4,401メートル 最低: 1,010メートル
地形	高原・山脈
気候	亜乾燥気候、ステップ気候、湿潤大陸性気候
おもな見どころ	ロッキー山脈国立公園 メサバルデ国立公園 アスペン、ボルダーなど
おもな見本市	<ul style="list-style-type: none"> ・ Denver Home Show (3月、デンバー) 家具、寝具、水まわり、園芸、空調、照明等 https://homeshowdenver.com/ ・ Denver International Auto Show (3月、デンバー) 自動車、部品、アクセサリ https://denverautoshow.com/ ・ Apparel & Accessory Markets (年数回、デンバー) アパレル、アクセサリ https://denvermart.com/ ・ Smart Cities Connect Conference and Expo (4月、デンバー) スマートシティ https://spring.smartcitiesconnect.org/ ・ Outdoor Retailer Summer/Winter Market (6月/11月デンバー) 屋外アクティビティ産業 http://www.outdoorretailer.com



デンバー (Denver) 市の地理	
土地面積	396 km ²
中心街高度	1,597メートル
気候	温暖大陸性気候 (年間降雨量 360mm)
気温	最高平均摂氏31.2度 (7月) 最低平均摂氏-8.5度 (12月)
交通	インターステート70 (東西) と25 (南北) が交差する
空港	デンバー国際空港
おもな見どころ	デンバー植物園、デンバー大聖堂、レッドロック野外劇場など

コロラドスプリングス (Colorado Springs) 市の地理	
土地面積	504km ²
中心街高度	1,835メートル
気候	ステップ気候 (年間降雨量 421mm)
気温	最高平均摂氏29.3度 (7月) 最低平均摂氏-8.1度 (12月)
交通	インターステート25沿い。その他ハイウェイ21、24、87、115などが市内を走る。
空港	コロラドスプリングス空港
おもな見どころ	レッドロックキャニオン、神々の庭園、パイクスピーク、北シャイアンキャニオンなど

〔出所〕米商務省国勢調査、U.S.ClimateDataなどに基づき作成。

〔出所〕米商務省国勢調査、JETRO世界の見本市・展示会情報(J-messe)などに基づき作成。

2. 政治・経済プロフィール(1): 州

- ✓ 伝統的な鉱業に加えて航空宇宙やIT、テクノロジーなどの産業集積が州の高い経済成長率につながる。
- ✓ ポリス新知事は元IT起業家。州有地の保護と豊富な自然資源を生かした「アウトドア観光やレクリエーション経済の成長」への取組みの公約のほか、コロラド州を全米のブロックチェーン技術の中心地とし、イノベーションに関わる法整備、促進のためのフレームワークづくりを支援していく旨公約。

主な経済指標

項目		全米ランク
人口 (18年7月1日)		569万5,564人 21位
名目GDP (18年2Q)		3,638億4,500万ドル 18位
実質GDP成長率 (18年2Q)		4.9% 5位
輸出 (2017年)	輸出額	80億5,411万ドル 34位
	主要製品	肉類、集積回路、医療機器
	主要輸出先国	カナダ、メキシコ、中国 日本は4位
輸入 (2017年)	輸入額	129億5,398万ドル 31位
	主要製品	原油、集積回路、自動データ処理
	主要輸入先国	カナダ、中国、メキシコ 日本は19位
世帯所得中央値 (17年)		65,458ドル 13位
民間雇用数 (18年12月時点)		311万8200人
失業率 (18年12月時点)		3.5%

〔出所〕米商務省国勢調査、米商務省経済分析局データ、米労働省労働統計局データなどに基づき作成。

(参考) [ビジネス短信「2017年の州別GDP成長率、ワシントン州など西部で3%超す」](#) (2018年5月14日)
[ビジネス短信「コロラド州の新知事は民主党、進歩的な公約を掲げて当選」](#) (2018年11月13日)

州知事プロフィール

州知事	ジャレット・ポリス (Jared Polis)
年齢	43歳
政党	民主党
任期	2019年1月～2023年1月 (1期目)
政策	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスケアの強化、銃規制の徹底、グリーンエネルギーへの投資誘致、死刑制度の廃止、公立学校の全日制幼稚園への拡大などの公約。 ・州内のグリーン雇用創出を目指し、平等な賃金支払いの確保などコロラド州民の就業、起業精神の向上を図る。 ・2040年までに発電の100%再生可能エネルギー化。そのためにエネルギー効率の向上を促進するための規制を強化。 ・コロラド州の幼稚園の無料化、すべての学生が高等教育および労働力開発プログラムに参加できる環境を整備。

〔出所〕州知事ウェブサイト、各種報道に基づき作成。

2. 政治・経済プロフィール(2): 主要都市

- ✓ デンバーは政治・経済の中心。コロラドスプリングスは航空宇宙、軍事産業。コロラド大学のあるボルダーも航空宇宙、IT、バイオサイエンスなど高度技術産業が見られる。
- ✓ 2017年の三都市の経済成長率は全米都市圏平均を大きく上回っている。

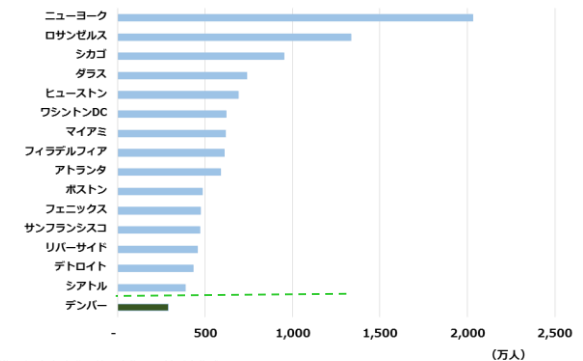
主な経済指標

項目	デンバー	コロラドスプリングス	ボルダー
人口 (17年7月1日時点)	288万8,227人 (全米19位)	72万3,878人 (全米79位)	32万2,514人 (全米155位)
名目GDP (17年)	2,088億8,800万ドル (全米18位)	326億8,300万ドル (全米83位)	252億7,400万ドル (全米107位)
実質GDP成長率 (17年)	3.6% (全米47位)	3.3% (全米58位)	3.1% (全米67位)
輸出額 (17年)	39億5,467万ドル (全米64位)	8億1,971万ドル (全米172位)	10億119万ドル (全米158位)
世帯所得中央値 (17年)	6万98ドル	6万2,535ドル	7万5,669ドル
民間雇用数 (18年12月時点)	164万8,600人	36万2,700人	19万4,900人
失業率 (18年10月時点)	3.7% (全米3.5%)	4.5% (全米3.5%)	3.3% (全米3.5%)
人種構成 (17年)	白人 80.9% ヒスパニック 29.9% アジア 4.0% 黒人 9.9%	白人 83.5% ヒスパニック 17.1% アジア 3.0% 黒人 6.9%	白人 90.5% ヒスパニック 13.9% アジア 4.7% 黒人 1.2%

〔注〕 三都市ともに広域都市圏・都市圏データ。

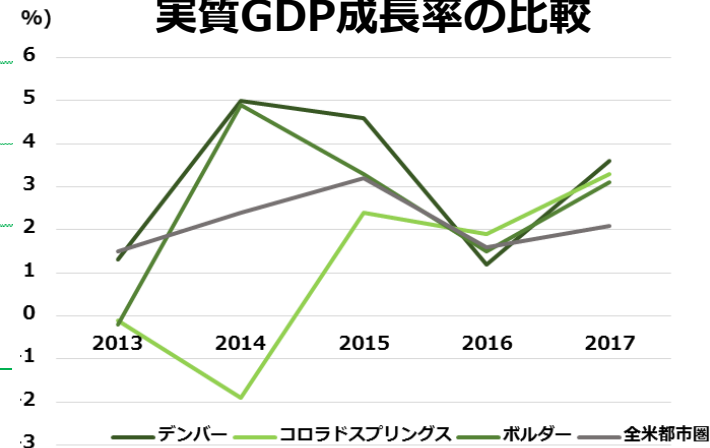
〔出所〕 米商務省国勢調査、米商務省経済分析局データ、米労働省労働統計局データなどに基づき作成。

上位広域都市圏人口



〔資料〕 米商務省国勢調査資料に基づき作成。

実質GDP成長率の比較



〔資料〕 米商務省経済分析局資料に基づき作成

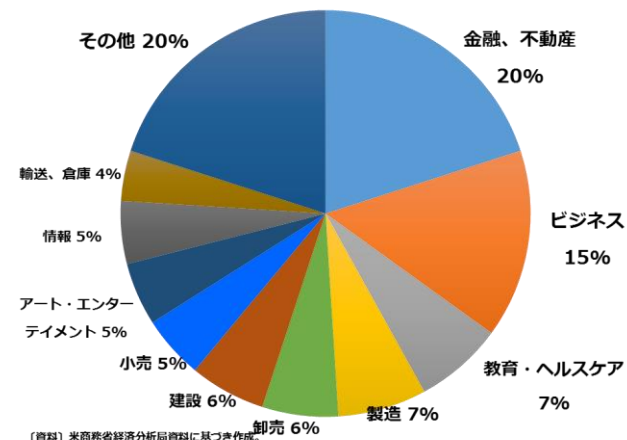
3. 産業構成の現状と今後の注力分野

コロラド州に本社を置く大手企業

ランキング	企業名	産業	連結販売額 (17年会計年度)	雇用者数
118	Arrow Electronics	卸売、電気製品、オフィス機器	268億1,250万ドル	1万8,800名
179	DaVita	ヘルスケア	160億380万ドル	7万4,500名
203	DISH Network	テレコミュニケーション	143億9,140万ドル	1万7,000名
275	Molson Coors Brewing	飲料製造	110億280万ドル	1万7,200名
277	Ball	メタル缶パッケージ製造	109億8,300万ドル	1万8,300名
288	Qurate Retail	小売	104億400万ドル	2万8,255名
344	DCP Midstream	ユーティリティ、エネルギー	84億6,200万ドル	2,650名
377	Liberty Media	メディア	75億9,400万ドル	4,393名
385	Newmont Mining	鉱業	73億4,800万ドル	1万2,569名
494	Western Union	金融サービス	55億2,430万ドル	1万1,500名
557	Chipotle Mexican Grill	飲食業	44億7,640万ドル	6万8,890名
636	Antero Resources	エネルギー	36億5,560万ドル	593名
816	MDC Holdings	エンジニアリング・建設	25億7,760万ドル	1,491名
908	Zayo Group Holdings	テレコミュニケーション	21億9,980万ドル	3794.00
931	Woodward	航空、防衛	20億987万ドル	6,829名
949	EchoStar	コミュニケーションネットワーク機器	20億390万ドル	2,100名
975	Summit materials	建築資材、ガラス製造	19億3,260万ドル	6,000名
981	Cimarex Energy	原油製造、鉱山	19億1,820万ドル	910名
985	Vail Resorts	ホテル、カジノリゾート運営	19億720万ドル	2万150名

(出所) Fortune500に基づき作成。

産業別GDP内訳 (17年)



(資料) 米商務省経済分析局資料に基づき作成。
<https://apps.bea.gov/itable/iTable.cfm?ReqID=70&step=1>

今後の注力分野

先進製造業

バイオ科学

防衛・安全保障

エネルギー・自然資源

食品・農業

インフラ・工学

観光

交通・物流

航空宇宙

クリエイティブ産業

電子

金融サービス

ヘルス・ウェルネス

情報テクノロジー

屋外アクティビティ

(出所) 州政府ウェブサイトに基づき作成

4. 事業コスト(1):賃金

- ✓ 州の最低賃金はカリフォルニア州と同程度に高い水準。
- ✓ 経済成長に伴い給与水準が全般的に上昇し、デンバーやボルダーの給与水準は他の主要都市と比べても高い。

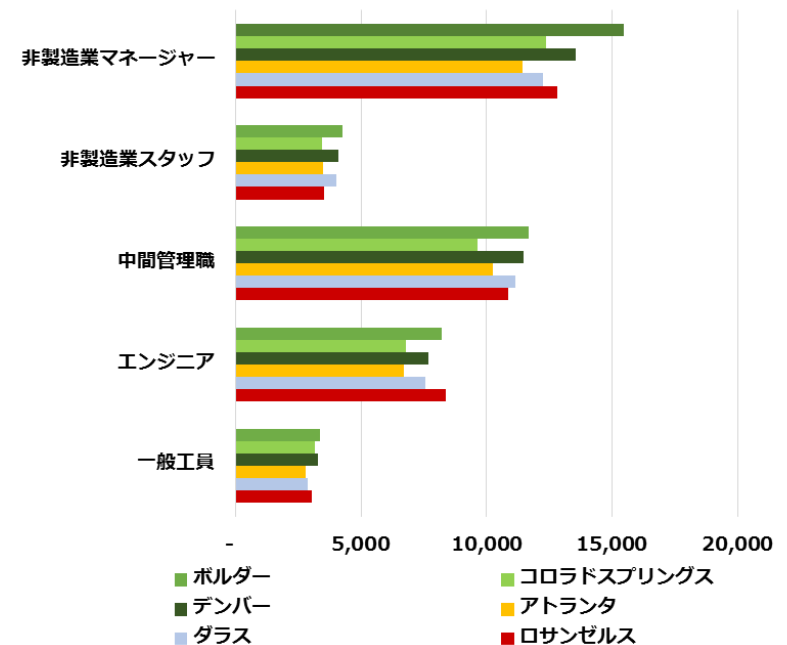
職業別月額賃金都市圏別比較（17年、ドル）

	デンバー		コロラド スプリングス		ボルダー	
	月額	上昇率	月額	上昇率	月額	上昇率
一般工員	3,268ドル	4.9%	3,169ドル	5.1%	3,360ドル	3.5%
エンジニア	7,698ドル	1.3%	6,788ドル	1.6%	8,201ドル	1.3%
中間管理職	1万,495ドル	1.2%	9,647ドル	0.1%	1万1,696ドル	3.6%
非製造業 スタッフ	4,079ドル	2.2%	3,449ドル	-2.4%	4,271ドル	-1.4%
非製造業 マネージャー	1万3,559ドル	4.0%	1万2,388ドル	0.7%	1万5,474ドル	3.1%
店舗スタッフ (アパレル)	2,494ドル	6.9%	2,335ドル	-2.4%	2,647ドル	-2.8%
店舗スタッフ (飲食)	1,971ドル	3.5%	1,997ドル	13.0%	2,223ドル	1.7%
法定最低 賃金	2019年1月～：11.10ドル/時間（チップ収入ある場合8.08ドル/時間） 2020年1月～：12.00ドル/時間					

〔注〕賃金は広域都市圏・都市圏データ。

〔出所〕労働省統計局、コロラド州政府労働雇用局資料などに基づき作成。

主要都市圏賃金との比較（17年、月額、ドル）



〔資料〕米労働省統計局資料に基づき作成。

(ドル)

4. 事業コスト(2): 賃料・公共料金

三都市の賃料・公共料金

項目	都市	料金	備考
工業団地賃料 (平方メートルあたり、月額)	デンバー	7.48ドル	18年第4四半期 前年比4.8%増
	コロラドスプリングス	7.68ドル	18年第4四半期 前年比7.8%増
	ボルダー	10.99ドル	19年2月
事務所賃料 (平方メートルあたり、月額)	デンバー	25.30ドル	18年第4四半期 前年比5%増
	コロラドスプリングス	13.24ドル	18年第4四半期 前年比5.5%増
	ボルダー	20.4ドル	19年2月
店舗スペース賃料 (平方メートル、月額)	デンバー	16.11ドル	18年第4四半期 前年比5.4%増
	コロラドスプリングス	14.91ドル	18年第4四半期 前期比0.7%増加
	ボルダー	23.32ドル	19年2月
電気 (キロワット時あたり)	デンバー	0.112 ドル	19年1月
ガス (サームあたり)	デンバー	0.794 ドル	19年1月
水道 (1m ³ あたり)	デンバー	0.61ドル	19年2月から(平均的な家庭用料金)月額基本料金15.94

〔資料〕CBRE (各種賃料)、米労働省統計局資料 (電気・ガス料金) デンバー他市水道局 (水道料金)、ボルダーについては19年2月20日時点での地元不動産業者掲載価格の平均に基づき作成。〔注〕デンバーのガス料金は18年12月時点

主要州との所得税・売上税の比較

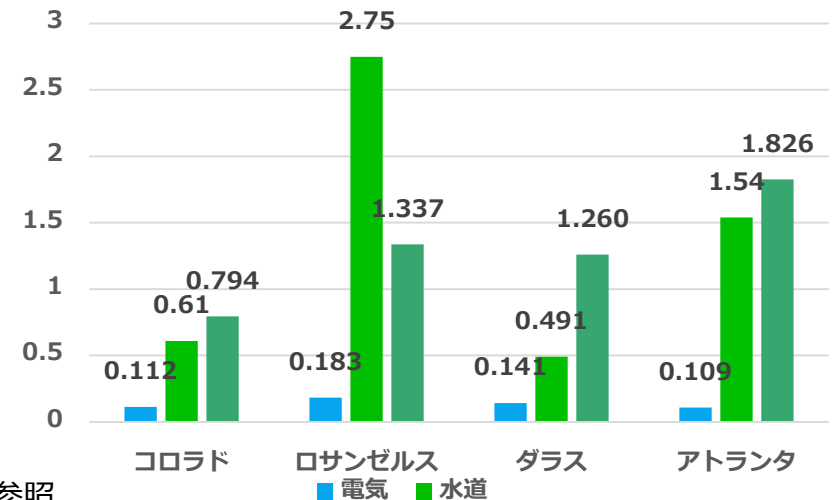
		コロラド州	カリフォルニア州	テキサス州	ジョージア州
法人所得税 (表面税率)	連邦		21%		
	州	4.63%	1.5~10.84%	0.375%~0.75%	6.0%
個人所得税 (表面税率)	連邦		37.0%		
	州	4.63%	1.0%~12.3%	なし	1.0%~6.0%
売上税	州	11.20%	8.55%	8.19%	7.23%

〔注〕売上税は州税に郡・市税の平均値を加えたもの。法人所得税は5,000ドル以上の収入から適用、税率均一。個人所得税は税率均一。

〔出所〕米内国歳入庁、Tax Foundation、各州政府機関資料などに基づき作成。

主要都市との公共料金の比較

(ドル/kWh、Therm、m³)



〔出所〕米労働省統計局資料に基づき作成。

※他の主要都市の投資コストについてはJETRO「投資コスト比較」を参照。

<https://www.jetro.go.jp/world/search/cost.html>

5. 人材

- ✓ 州を代表する高等教育機関は、コロラド大学（ボルダー校、デンバー校）やコロラド州立大学など。U.S. Newsの米国大学ランキング（2019年）ではコロラド大学ボルダー校の工学部が全米32位、その中でも特に航空宇宙工学プログラムは9位、環境工学プログラムが12位と上位。

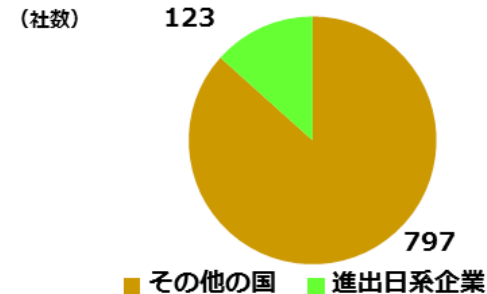
プログラム名	概要
コロラド労働力センター Colorado workforce centers	州政府と郡が共同で運営する人材育成・確保支援センター。センターでは人材確保のためのアドバイザー、人材サーチ、スクリーニング、州内の人事情報の提供などを行う。 https://www.yourworkforcecenter.com/
コロラド労働力開発評議会 Colorado Workforce Development Council	州政府が運営する人材育成のための評議会。州内の企業や関連団体の採用や人材育成活動をマネジメント。産業別にグループ分けした企業グループが州政府とパートナーシップを組み、その産業の人材を育成するように促進。 https://www.colorado.gov/pacific/cwdc
コロラドファースト・既存産業補助金プログラム Colorado First & Existing Industry (CFEI)	州政府が運営する、州内へ進出する企業や追加雇用する企業、コロラドの経済発展につながる職業を増やしていく企業を対象に産業トレーニングの助成金を提供する制度。 https://internal.cccs.edu/academic-affairs/training-funds/
ボルダー郡労働力サポート Workforce Boulder County	ボルダー郡の労働力サポートセンターでは、退役軍人や若年求職者など向けなど、求職者や企業にさまざまなサービスを提供。企業向けには無料で求人や採用サポートを提供。そのほか求職者向けには高校卒業資格取得へのガイダンスやコンピュータースキル向上のセルフトレーニングセンター、キャリアサポートなどを提供。 https://www.bouldercounty.org/departments/community-services/workforce-boulder-county/
University of Colorado Employee Development コロラド大学ボルダー校従業員育成プログラム	コロラド大学ボルダー校では、就業者の修士号や資格取得、遠隔地受講のためのプログラムを提供。また、現役学生以外の一般向けの継続教育プログラムや、企業説明会や学生と交流ができる場も積極的に設けている。 https://www.colorado.edu/industry/industry-partner/workforce/employee-development

〔出所〕コロラド州政府及びコロラド大学などのウェブサイトを基に作成

（参考）ビジネス短信「ミレニアル世代の移住先、西部・南部が人気」（2018年06月22日）

6. 企業進出例

進出外国企業数（16年時点）



〔注〕資本比率50%海外外国企業に占める日系企業数。

〔資料〕米商務省経済分析局データ。

進出日系企業例

企業名	業種	場所
テルモ	医療機器、部品製造	デンバー郊外
シマノ	サイクルウェア製造・販売	ボルダー郊外
東洋製罐	製缶・製蓋機械製造販売	デンバー郊外
リコー	印刷機器製造、開発、研究、保守	ボルダー
ゴルフダイジェス ト・オンライン	ゴルフレッスン	エングルウッド
メニコン	コンタクトレンズ原料製造	デンバー郊外

〔資料〕各紙、各社ウェブサイトなどにに基づき作成。

日本企業もコロラドハイテクへ投資

2017年日本航空はデンバーの超音速旅客機開発ベンチャー「ブームテクノロジー」と資本業務提携を締結し、1000万ドルを出資。航空運送以外での事業拡大を目指しており、ブーム社に高い成長性が見込めると判断したもの。



企業名	製品・サービス	概要
Ardent Mills (ConAgra Foods, Cargill, CHS 合同ベンチャー企業)	穀物製品	2013年に本社機能をネブラスカからコロラド州デンバーに移転。コロラドで栽培される良質の穀物、技術力のある農業労働者、農業系企業の存在及び支援ネットワークの強さを理由に挙げる。 コロラド州によると、同州の小麦生産は過去10年間で1万5,717名の雇用を創出したと。リマグレインやカーギル社を含む世界有数の食品遺伝子工学企業の拠点でもある。
Panasonic Enterprise Solutions	イノベーション	2016年、北米でのイノベーション、エンジニアリング及び営業のハブとして拠点設立。経済環境、公共交通アクセス及びビジネス環境（政治環境及び人材）の良さが場所選びの決め手に。400人規模の従業員の中心はエンジニアで、コロラド鉱山大学、コロラド州立大学、デンバー大学、メトロ州立大学、コロラド大学等から幅広い人材を採用。地元デンバー市とは、次世代交通システムの実証実験を含むスマートシティ計画City Nowプロジェクトを実施。
The North Face	アパレル	カリフォルニア州アラメダからコロラド州デンバーへの2020年までの移転を発表。報道によれば、移転要因の一つはカリフォルニア州北部ベイエリアの不動産価格やオフィス賃料の高騰。
Lockheed Martin	航空、防衛製品および部品	2017年2月、カリフォルニア州サニーベールのフリート弾道ミサイル拠点からコロラド州へと拠点を移転。 同州ではすでに6,800名の雇用があるが、8年間で550人の新規雇用をジェファーソン郡（デンバー郊外）にもたらす予定と引き換えに、1,260万ドルの雇用増加インセンティブ税額控除を得ている。

〔出所〕コロラド州経済開発・国際貿易室ウェブサイト、各種報道に基づき作成。

〔参考〕ビジネス短信「ザ・ノース・フェイス、本社をカリフォルニアからコロラド州に移転」（2018年9月3日）

ビジネス短信「ゴルフ専門サイトGDO、米ゴルフテックを子会社化」（2018年6月18日）

7. 州レベルの取組み

分野	名称	概要
環境	コロラド州再生可能エネルギーポートフォリオ基準 Renewable Energy Standard (RES)	州内の公益事業体に2020年までに自社の電力の30%を再生可能エネルギーに基づき発電することを義務付け、そのうち3%は分散型エネルギー資源によるものでなければならないとする。また、共同公益事業体は電力の20%を再生可能エネルギーに基づき発電しなければならない。ポリス新知事は2040年までにこの数値を100%まで引き上げる意向。 https://www.colorado.gov/pacific/energyoffice/renewable-energy-standard
初等中等教育	居住地域に関わらない教育機会の提供	ポリス知事は、幼稚園無償化および生徒の大学進学や社会進出を準備するためのプログラムに投資をする予定。 URL: https://www.colorado.gov/governor/key-issues
高等教育	コロラド高等教育委員会2025年目標	25歳から34歳までのコロラド州住民のうち、大学卒業資格証明書または学位を持つ成人を2025年までに66%まで増やすことを目標に掲げ、将来の人材育成に努めている。 URL: http://masterplan.highered.colorado.gov/the-colorado-goal-66-percent-statewide-attainment/
地域経済開発	オポチュニティゾーンプログラム Opportunity Zone Program	ポリス州知事は2019年2月、新たな投資を引き付け、経済発展を促進するために州経済開発局の管轄下にオポチュニティゾーンプログラムを運営する事務局の設置を発表した。また、新たな投資誘致プロセスを円滑化するために必要な経済モデル作り、事業計画書の開発、およびコミュニティ志向のプロジェクトの実現を支援するために必要となる助成金を提供することも検討している。 (オポチュニティゾーンプログラムは、長期投資に対する連邦税の優遇措置を提供することにより、低所得の都市および農村地域の経済活性化を図る連邦政府の経済開発イニシアチブ。) URL: https://www.colorado.gov/governor/news/governor-polis-announces-new-office-help-colorado-communities-realize-opportunity-zone

[出所] 州政府ウェブサイト、各種報道に基づき作成。

8. ビジネス支援団体(1)

公的機関

機関名	概要	コンタクト
コロラド経済開発・国際貿易室 Office of Economic Development and International Trade	企業誘致や州内企業支援など州レベルでのビジネスサポートおよび経済開発機関。	Address: 1600 Broadway, Ste. 2500, Denver, CO 80202 Tel: +1-303-892-3840 https://choosecolorado.com
デンバー市・郡経済開発局 City and County of Denver Economic Development	デンバー郡と市が提携する経済開発局。デンバーでの雇用支援から許可申請、ビジネス・アドバイザーまで包括的な支援サービスを提供。	Address: 101 W Colfax Ave, Denver, CO 80202 Tel: +1- 720-913-1623 https://www.denvergov.org/content/denvergov/en/denver-office-of-economic-development.html
エルパソ郡経済開発局 El Paso County Economic Development Department	コロラドスプリングス市が属するエルパソ郡の経済開発局。企業誘致の推進や、製造業など新たな雇用を生み出す産業向けのビジネスローンの情報提供などを行う。	Address: Nine East Vermijo Avenue Colorado Springs, CO 80903 Tel: +1- 719-520-6484 https://admin.elpasoco.com/economic-development/

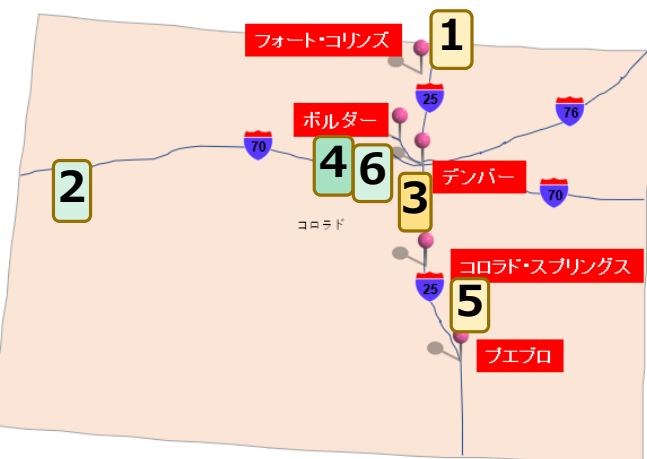
商工会議所等

機関名	コンタクト	機関名	コンタクト
コロラド商工会議所 (Colorado Chamber of Commerce)	Address : 1600 Broadway Suite 1000 Denver, CO 80202 Tel: +1-303-831-7411 URL: https://cochamber.com/	コロラド日米協会 Japan America Society of Colorado (JASC)	Address: 1373 Grant St. #103 Denver, CO 80203 Tel: +1-303-592-5364 URL: https://www.jascolorado.org
デンバーメトロ商工会議所 (Denver Metro Chamber of Commerce)	Address: 1445 Market Street Denver, CO 80202 Tel: +1-303-534-8500 URL: https://denverchamber.org/	アジア商工会議所 (Asian Chamber of Commerce)	Address: 924 West Colfax Avenue, Suite 104-G Denver, CO 80204 Tel: +1-303-595-9737 URL: https://www.acccolorado.org/
コロラドスプリングス商工 会議所 (Cokorado Springs Chamber of Commerce)	Address: 102 South Tejon Street Suite 430 Colorado Springs, CO 80903 Tel: +1-719-471-8183 URL: https://coloradospringschamberedc.com/	ボルダー商工会議所 (Boulder Chamber of Commerce)	Address: 2440 Pearl St., Boulder, CO 80302 Tel: +1-303-442-1044 URL: https://boulderchamber.com/
		ロッキーマウンテン日系企業会 (JBAR : Japanese Business Association of the Rockies)	URL: https://www.jbarockies.org/

[出所]各機関・団体のウェブサイトに基づき作成。

8. ビジネス支援団体(2): インキュベータ

代表的なインキュベータ



1. Innosphere

州を代表する技術インキュベータ。フォートコリンス、ボルダー及びデンバーにオフィスがある。参加企業は計2億2,000万ドルの資金確保、6,300万ドルの収益、1,400件以上の州内の雇用を創出。卒業企業は52社。URL: <https://innosphere.org/>

2. Business Incubator Center

製造、農業など幅広い分野のインキュベーター。5年間の強化プログラムを通じて支援。URL: <https://gjincubator.org/business-incubator-program/>

3. CREED

国立再生可能エネルギー研究所及びコロラド州再生可能エネルギー経済開発センターが支援するインキュベータ。交流イベント開催や一時オフィス提供など。URL: <http://www.creed.org/>

4. Boomtown

ボルダーにあるインキュベータ。IoTなど32の技術分野、16の産業に投資。URL: <https://boomtownaccelerators.com/>

5. Rocky Mountain Innovation Partners

コロラドスプリングスにあるインキュベータ。多くの技術分野の企業をサポート。URL: <http://www.rmipartners.org/>

6. Techstars

ボルダーの本拠をはじめ、全米及び世界中のネットワークを生かしスタートアップを支援する。共同創業者の一人がポリス州知事。URL: <http://www.techstars.com/>



(写真: Pixabay)

9. 各種インセンティブ

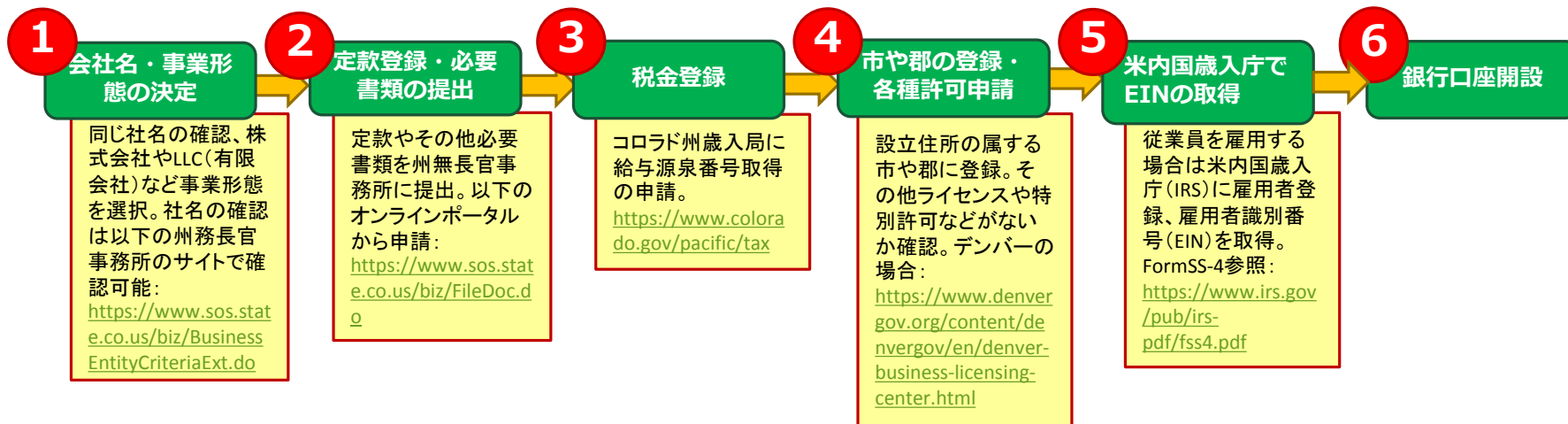
- ✓ 経済開発・国際貿易室ウェブサイトインセンティブプログラムが多数掲載
(<https://choosecolorado.com/doing-business/incentives-financing/alphabetical-listing-programs/>)

分野	概要	条件・申請方法
先進産業向け税控除 The Advanced Industry Investment Tax Credit	先進産業（先進製造、航空、バイオ科学、エレクトロニクス、エネルギー・自然資源、インフラエンジニアリング、ITなど）の向けの税控除プログラム。州内に本社を有する又は従業員全体の50%以上を有する企業を対象とする。	URL: https://choosecolorado.com/doing-business/incentives-financing/advanced-industry-investment-tax-credit/
航空開発区域税額控除 Aviation Development Zone Tax Credit	州政府認可の航空開発区域内に位置する航空機のメンテナンス、修理、製造などに関わる企業に対して、フルタイム従業員1名につき1,200ドルの州所得税控除	URL: https://choosecolorado.com/doing-business/incentives-financing/aviation-development-zone-tax-credit/
現金担保サポート Cash Collateral Support	州内で事業を行っている中小企業で、担保不足により信用を確保することが困難な企業のための資本獲得支援。	URL: https://choosecolorado.com/doing-business/incentives-financing/cash-collateral-support-ccs-ssbci/
インフラ助成金 Collaborative Infrastructure Funding	州の高度産業の成長のために必要となるインフラの開発を目的とする事業を支援するための助成金。	URL: https://choosecolorado.com/doing-business/incentives-financing/advanced-industries/infrastructure-funding/
売上税および使用税の還付 Sales and Use Tax Refunds	製造業、クリーンテック、バイオ科学、再生エネルギー産業などを対象にコロラド州の売上税および使用税の税控除を提供。	URL: http://choosecolorado.com/wp-content/uploads/2016/07/Factsheet_BFI_Tax_Relief.pdf

[出所]コロラド州経済開発・国際貿易室ウェブサイトに基づき作成。

10. 会社設立手続き

✓ 州務長官事務所が管轄 (<https://www.sos.state.co.us/pubs/business/businessChecklist.html>)



留意点

コロラド州は産業別、地域別に多数の税制インセンティブあり。インセンティブのリストは以下URL：
<https://choosecolorado.com/doing-business/incentives-financing/alphabetical-listing-programs/>

州、郡、市レベルで取得する必要のある各種ライセンスを確認する。
<https://choosecolorado.com/occupational-license-database/>

州務長官事務所ウェブサイトには会社設立プロセスと参考情報あり：
http://cosos.learnercommunity.com/portal/Files/Org/5d253e1535be429bb1f78929a435c5c6/site/assets/starting_a_business/english/index.html